

5-3-2 子どもの医療体制等の充実

【現状と課題】

安心して子どもを産み育て、子どもが病気になっても安心して医療を受けられるよう、公立豊岡病院組合や医師会と連携し、医師の確保や小児救急医療及び周産期医療体制の確保に努めています。

~~乳幼児期にかきみがちな医療費などに対しては、兵庫県の福祉医療助成制度に基づいて医療費助成を行っています。~~

また、保護者の経済的負担の軽減を図るため、子どもの医療機関等で診療を受けた際に支払う保険診療の自己負担の一部を助成しています。

【今後の方向性】

- 小児救急セミナーの開催や休日急病診療所出務医師の確保に努め、公立豊岡病院組合や医師会と連携した取組を推進します。
- 但馬地域の周産期医療体制の確保に努めます。
- 子どもへの医療費の助成を行い、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、情報発信を工夫し、事業の周知に努めます。

【主な施策】

- 小児医療の確保・充実
- 産科医療の確保・充実
- 乳幼児等医療費助成事業の普及・啓発
- こども医療費助成事業の普及・啓発

都市整備課関係分（案）

取組方針6. 安全・安心な子育て環境の整備

遊び場や通学路など、子どもの活動の場であるまちなかや教育・保育施設等における安全を確保し、バリアフリー化を進めるとともに、子どもを交通事故や災害等による被害から守るための体制の強化が必要です。

また、インターネットなど子どもを取り巻く情報環境の変化も踏まえて、生活環境全般にわたる安全・安心な子育て環境の整備が必要です。

5-6-1 安全・安心なまちづくりの推進

【現状と課題】

子育て世代等が、地域において安全・安心で快適な住生活を営むことができるよう、既存公共施設や通園・通学路の安全点検を行うとともに、バリアフリー化を推進しています。

子どもが交通事故に巻き込まれないよう、警察の協力のもと、保育所や幼稚園、小中学校において交通安全教室を実施しています。

また、災害発生時の対応について、防災教育を実施し、災害発生時に取るべき行動や命の守り方を再確認する機会を設けています。今後は、学校だけではなく家庭と連携し、防災意識を高めていく必要があります。

子どもが安全に遊ぶことができるよう、**地域の市域に設置されている**公園や広場の整備を行うとともに、活用の促進を図っています。公園施設や遊具に関しては老朽化もみられることから、安全を第一に**維持**管理と整備を徹底する必要があります。

また、「子育て広場」の活用については、地域住民による「子育て広場芝生化実行委員会」を設置し、苗植えや草取りなどを実施しています。

【今後の方向性】

- 利用者の声を聞きながら公共施設の整備に努めます。
- バリアフリー化や防犯灯設置に対する補助を行い、施設や通園・通学路の安全確保を実施するとともに、自転車ネットワーク計画を策定し、安全で快適な自転車通行空間の整備を行います。
- 交通安全、防災について、実施内容を工夫しながら、関係機関や家庭と連携した教育を実施します。
- **地域の市域に設置されている**公園や広場について、利用者が安心して利用できるよう、環境整備を推進するとともに、地域住民と連携した継続的な**維持**管理を行います。
- 子どもの遊び場に関する情報提供については、より利用しやすい媒体などを考慮しながら「豊岡市内遊び場マップ」の見直しを行います。

【主な施策】

- 交通安全教育の推進
- 防災教育の推進
- **地域の**公園や広場の活用推進
- 防犯等情報提供体制の充実